

2026年度 高知県ラグビーフットボール協会 普及推進事業 『タグラグビー出前授業（幼稚園・保育園）』実施要領

1. はじめに

- 1) タグラグビーとは、ラグビーと同等のルールではあるが、タックルなどの身体の接触が少ない安全なボールゲームです。また、ゴールなどの特別大型な器具を必要とせず、コートของ広さやプレーヤー数にアレンジを加えやすく、ボールとタグさえあれば子どもから大人まで誰もが手軽に楽しむことのできる競技です。
- 2) タグラグビーではボールを持ったまま走ることができ、その延長として広いゴールゾーンのどこでもよいので走り込めば得点できるなど、他のボールゲームに比べてやさしい面が多いので、運動の苦手な子でも活躍できます。
- 3) タグラグビーにおいて、攻めではボールを持って走り、守りでも相手を追いかけて走ることで豊富な運動量があることはもちろん、様々な方向へスピードを変えながら走り回ることによって、敏捷性やバランス感覚も自然に養われていきます。
- 4) タグラグビーは、教育指導効果も認められ平成20年4月1日から施行された小学校学習指導要領解説書（体育編）に例示されました。これを受けて高知県ラグビー協会ではこれまでも小学校での『タグラグビー出前授業』などタグラグビー普及に取り組んできましたが、さらに幼児期での体力向上や集団づくりの一助となるよう、タグラグビーの普及活動として『幼稚園・保育園へのタグラグビー出前授業』に取り組めます。タグラグビーを通じて楯円のボールに触れる機会を提供し、ラグビーという競技に興味を持ってもらうきっかけにすることを目的のひとつとします。

2. タグラグビーの良さ

- 1) 低年齢期の遊戯経験から発展させやすい運動
 - ・ 鬼遊び（鬼ごっこ）と深い関連性を持つ
 - ・ 低年齢期の鬼遊びから自然に学習を発展させやすいボールゲームである
- 2) 今持っている力で楽しむやさしい学習を導きやすい運動
 - ・ 後ろにパスされるので、どの子もボールを手にする機会を持ちやすい
 - ・ ゲームに参加するために必要な個人的技術が、ボールを持って走るだけなのでやさしい
 - ・ 得点の仕方もゴールゾーンに走りこんでボールを置くだけでやさしく、運動が苦手な子も含めてどの子も得点できる可能性が高い
 - ・ タグを使うことで、攻守の動きがはっきりとしていて子どもに分かりやすい

- 3) ゲームへの参加から豊富な運動量をもたらされる運動
 - ・ゲームへの参加が自然に促され、豊富な運動量をもたらされる
 - ・多様な動きにより、敏捷性やバランス感覚が自然に養われる
 - ・基本的に少人数（4～5人）で行うのでボールを触る機会も運動量も増えると同時に、作戦タイムなど話し合うことでの成長も期待できる

- 4) 個人差や男女差が顕在化しにくい運動
 - ・多くの子どもにとって初めて出会う運動種目であり、スタートがみんな一緒
 - ・運動が苦手な子も参加しやすいやさしいゲームなので、個人差や男女差が顕在化しにくい
 - ・男の子と女の子、また大人と子どもでも一緒に楽しめるので、様々な場で活用できる

3. 講師について

- 1) 高知県ラグビーフットボール協会より講師を派遣します。
- 2) 幼稚園教諭・保育士を対象とした講習会も、要望があれば随時実施します。

4. 実施期間

2026年5月27日～2027年3月31日

5. 実施時間

- 1) 年齢にもよりますが1回の出前授業の目安として、45分授業で1～3コマ。
- 2) 保護者参加の行事等で運用も可能です。
- 3) 上記1)、2)ともに相談に応じます。

6. 場所について

各幼稚園・保育園（運動場、体育館どちらでもOK）

7. 幼稚園・保育園での過去の実践例

- 1) 高知市百石町 ふくし園（年中組26名・年長組30名）のケース
 - ・年中組、年長組にて45分授業で出前授業を実施（当初3回ずつの予定も天候不順のため2回ずつの実施に変更）。
 - ・内容としては以下の4点を重視してメニューを構成
 - ① 楕円球の特性を活用（ハンドリング、キャッチング、ドリブルなど）
《不規則な動きに反応して対応する》
 - ② ボールをバトン代わりにしたりレー（ボールを保持して走る）
《競争・応援・祝福について学ぶ》

③ 集団競技としての“鬼ごっこ”

《作戦立案→共有して実施、リーダーシップの発現》

④ ボールを持って走り相手を抜いてトライする（または阻止する）

ラグビー的動き《ランニングスキルの発揮、パス交換、タイミング等》

2) その他 過去に実施していただいた幼稚園・保育園

- ・土佐山田幼稚園 年長組
- ・野市東幼稚園 年長組
- ・美良布保育園 年長組/年中組
- ・江ノ口保育園 年長組/年中組
- ・潮江第二双葉園 年長組
- ・野市保育所 年長組
- ・東泰泉寺保育園 年長組
- ・朝倉保育園 年長組
- ・朝倉くすのき保育園 年長組
- ・朝倉くすのき保育園分園 年長組/年中組
- ・新改保育園 年長組/年中組
- ・十市保育園 年長組/年中組
- ・大津保育園 年長組
- ・新木保育園 年長組
- ・赤岡保育所 年長組
- ・聖園マリア保育園 年長組/年中組
- ・針木保育園 年中組
- ・香我美幼稚園 年長組/年長組
- ・国府保育園 年長組/年中組
- ・土佐山田保育園 年長組
- ・びすた保育園 年長組/年中組
- ・旭保育園 年長組
- ・夜須幼稚園 年長組
- ・小高坂保育園 年長組/年中組
- ・常盤保育園 年長組/年中組
- ・稲生保育園 年長組/年中組
- ・野市幼稚園 年長組
- ・片地保育園 年長組/年中組
- ・若草幼稚園 年中組

幼年期の運動神経発達に必要な刺激を加えることを念頭に、楕円球の特性を活かしたボールジャグリングやハンドリング、キャッチング、キッキングなど様々な動きを取り入れています。また、『逃げる』『追う』『捕まえる』といった根源的な競争の要素を取り入れ、子どもたちが夢中になって走り回ることを狙っています。そこに段階的に簡単な集団競技のルールを加えていくことで、集団の中でのチームワークについて考えさせ、規律を守ることを体験してもらえるように工夫しています。

1) のふくし園のケースでは2~3月の実施だったので、特に年長組さんでは小学校進学を前にパス交換や作戦立案→共有して実施といった集団競技に取り組む機会として取り上げていただけました。

8. その他

- 1) 講師料や用具代などの費用はかかりません。
- 2) 本事業において発生した怪我等においては、各幼稚園・保育園での対応をお願いいたします。